



# こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.140

## 『なくそう就職差別』

「就職差別」ってご存知ですか？「就職差別」とは、本人の適性や能力とは全く無関係の事柄を理由に応募者を排除することです。もし、自分の大切な子や孫がそんな差別を受けたらどんな気持ちになるでしょうか？

働くことは、生活の安定や社会参加につながる大切なこと。だからこそ、その入り口となる採用選考は応募者の基本的な人権を尊重し、適正な能力に基づき、公正に行わなければならない。かつて、就職に際して提出する応募用紙や面接時の質問で「本籍地」や「家族構成」、「家族の職業」など、本人の能力とは関係のない事柄が問われ、それによって採用の可否が決定されてしまっていたことが行われていました。また、「血液型」や「身長」、「長女か二女か」といったことまでが採点されていた例もあるようです。

「本籍地」を記載させることで同和地区出身者を差別していたことが明るみに出て、大きな問題になりました。このような職業選択の自由を奪う差別に対して、怒りをおぼえた高校生や先生方が立ち上がり、差別を許さない、認めない、行わせないことを目標に活動を始めました。そしてみんなが公正に入社試験を受けられるようにと考え出されたのが「全国高等学校統一応募用紙」だったのです。1996年（平成8

年）には様式の大規模な見直しが行われ、家族欄、保護者と本人との続柄と年齢欄、本籍欄等をなくしました。その後、すべての高校生にとつて、より公正な採用選考になるようにと改定が進められています。現在、全国の高等学校で、この「全国高等学校統一応募用紙」が使われています。

現在の「全国高等学校統一応募用紙」では志望の動機欄が大きくなっています。自分自身のアピールがたくさんできるようになっているのです。

しかし残念ながら今でも、採用選考の時に差別的な質問をされて嫌な思いや悲しい思いをする学生がいることが連合（日本労働組合総連合会）の調査結果に出ています。企業が採用時に調査会社に依頼して、応募者の家族状況などを調べるといって就職差別につながるおそれの強い身元調査事件、調査会社などからの依頼を受けた行政書士などが、職務上の権限を悪用して、戸籍謄本などを不正に取得する事件も起きています。このような身元調査は、本人の仕事をする能力とは直接関係のないものであり、基本的な人権の尊重を保障した憲法の精神に反するものです。一体いつになったらこんなことがなくなるのでしょうか。

市長日記

## 市長日記

### 『デービッド・アトキンソン氏講演会』

No.80

国東市長 三河明史



デービッド・アトキンソンさんの講演会です。私は、是非国東で多くの人に聞いてがやっと実現しました。アトキンソンさんの話を国東の多くの人が、特に観光関係の人に聞いてもらいたかったのです。彼は、イギリス人ですが、日本の国宝や重要文化財を修復する（株）小西美術工芸社という会社の社長さんであり、元々は、大手証券会社のアナリストだった方なのです。



最初に彼の講演を聞いたのは、とある政経フォーラムでした。流暢な日本語で、アナリストらしく数字を使いながら、現在の日本の観光政策の問題点を上げ、「観光を産業として戦略をもって振興すべきである」というような話をしました。



私がその中で感心したのは、彼の会社が、日光東照宮の修復を請け負った時に、仕様書を見ると中国産の漆を使うようになっていた。「これはおかしい。日本の国宝になぜ中国産の漆を使うのか」と、当時の文部科学大臣に直談判し、変更してもらったそうです。日本人であっても見過ごすか気にも留めない様な事をしつかりやる姿勢に感嘆したのです。もちろんそれだけでなく、日本の観光政策の間違いを指摘し、産業としてしっかりと取り組むべきだと話されたの。更に取り組みましよう。

## 選挙の日程について

### 任期満了に伴う国東市議会議員選挙

国東市選挙管理委員会（重光信正委員長）は12月1日に定例会を開き、任期満了に伴う国東市議会議員選挙の日程について次のとおり決定しました。

- 【国東市議会議員選挙】
- 1. 告示日 4月8日（日）
- 2. 選挙期日 4月15日（日）

【立候補予定者説明会】  
2月24日（土）午前10時から  
アストくにさき アグリホール

【問合せ先】国東市選挙管理委員会 ☎0978-72-5199

### 第5回身になる人権講座

講師 坂本巴吉さん  
（部落解放同盟 大分県連合会国東支部支部長）

テーマ 過去と現在の部落差別

日時 平成30年1月24日（水）  
午後6時～7時30分

会場 アストくにさき マルチホール  
※ 託児あります。

【問合せ先】社会教育課  
☎0978-72-2121

●第11回国東市隣保館まつり  
「こころの川柳」  
課題 《笑顔》応募作品

笑顔だとお薬代が減ってゆく  
安岐町 林田 八重子

えがおです  
なかがまがいますわたしには  
国東町 西田 サチ子

私たちは、生まれる時代や場所・家庭、性別、血液型などを自分で選ぶことができず、そんな、自分には責任のないことや偏見、迷信で判断されるのは許されることではありません。平成28年12月には「部落差別の解消の推進に関する法律」も公布・施行されました。